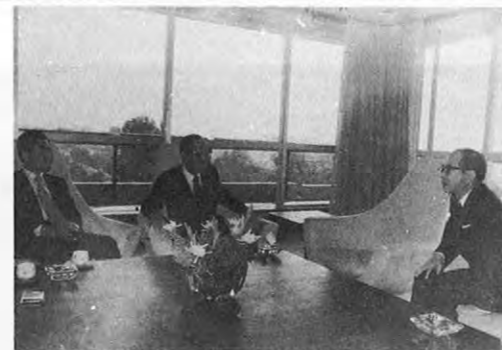
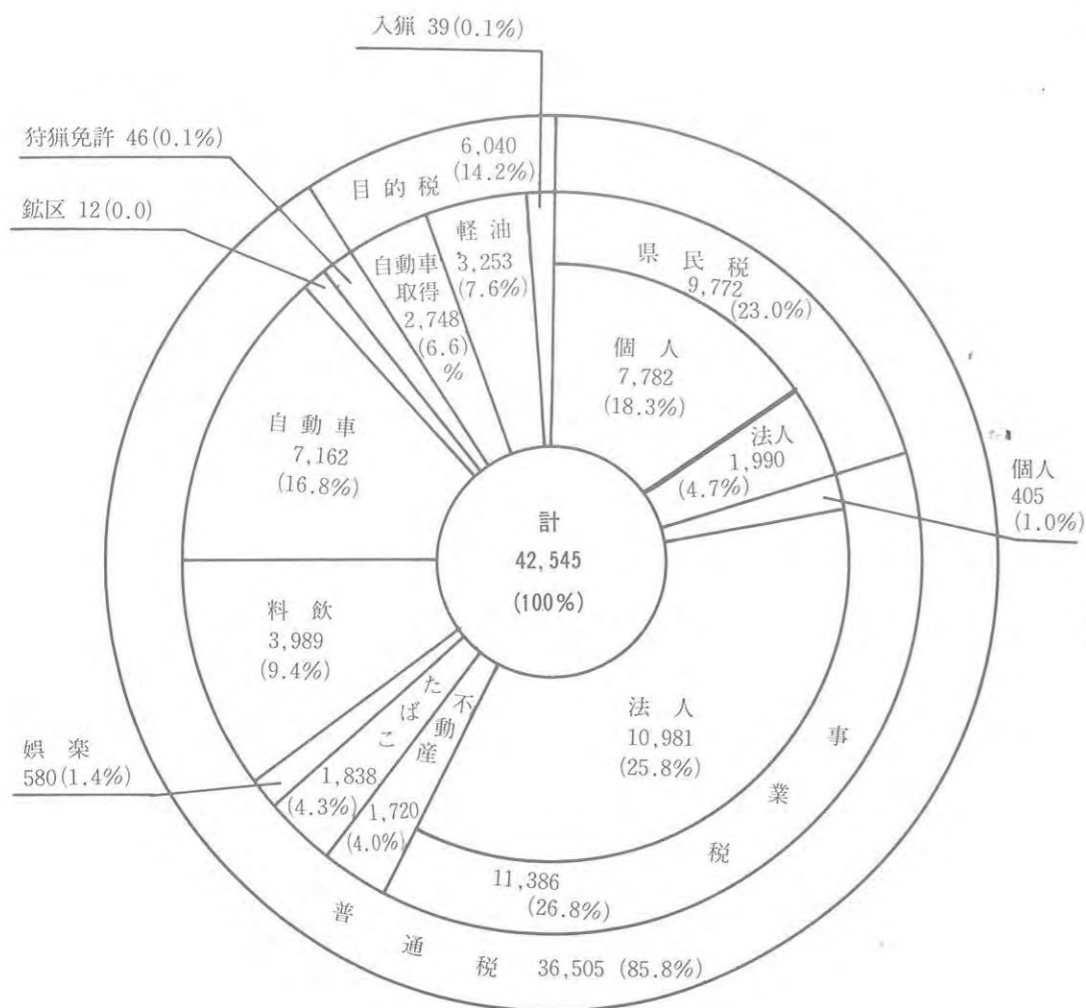


# 眼で見る県政

昭和51年度県税調定額の内訳(現年度)

(単位 百万円)



10.25—熊本市内で開かれた「日韓貿易懇談会」に出席のため来熊中の金永善在日韓国大使が県庁を訪れ、沢田知事を表敬訪問しました。同大使と沢田知事は、終始なごやかな懇談を交わし、親善を深めました。



10.26—パキスタン・インドなどアジア・オセアニア8カ国の青年38人が色とりどりの民族衣装で4日間にわたり県内を視察しました。一行は、県農業試験場などを見学、熊本の農業について熱心に視察を行いました。



10.28—10台目の結核検診車が購入されその命名式が行われました。(財)結核予防県支部(支部長・沢田知事)が購入した最新設備を誇るこの新鋭車は、「けいりん362号」と命名されました。



10.31—農地改革30周年を記念して農林大臣表彰の伝達式が行われました。農地行政、農村民主化、農地利用調整及び農地紛争事案処理等の各分野に功績を残した4人の方が表彰されたものです。

県政トピックス ★ 県政トピックス ★ 県政トピックス



10.1—「みんながしあわせでありたい」それは、県民すべての願いです。今年も赤い羽根共同募金が始まりました。熊本市の繁華街では、「進発式」が行われ、さっそく「お願いします」と道行く人に呼びかけていました。



10.8—県教委は、県下のスポーツ指導者、競技団体役員12人を52年度県スポーツ功労者として表彰しました。スポーツ功労者表彰は今年で4回目、これまでに32人が顕彰され、県下のスポーツ界第一線でいずれも活躍中。



10.14—「がんばれ交通遺児！ぼくらは走るぞ日本列島6,000キロ」。交通遺児が抱えた問題とその救済を訴えた第15回全国学生交通遺児育英募金事務局主催のセレモニーが県庁プロムナードで行われ、県民の賛同を求めました。



10.24—中国国籍の姉妹二人を看護婦見習として温かく受け入れ、日本語や生活習慣等を親身に世話をしている八代市の医師・田淵守一氏(65)と、同医師・市村平氏(52)の二人が表彰されました。姉妹は、来年三月准看護婦の資格者となる見込み。